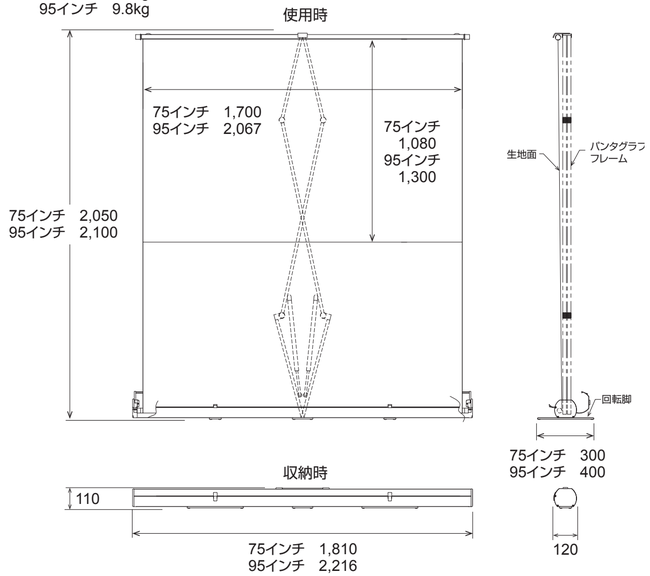
基本仕様

重量　：75インチ　8.0kg
　　95インチ　9.8kg



故障かな？と思ったら

スクリーンが巻き取れないときは…

スクリーンが左右にかたよっていませんか？	グリップを持ち上げて一度スクリーンを引き出し、無理な力がかからないよう（斜め方向など）ゆっくりとグリップを引き下げて、スクリーンを巻き取ってください。
室内の気温が低くありませんか？	無理に巻き取らず、22℃以上の暖かい室内で 10 分ほど放置してからスクリーンを巻き取ってください。
スクリーンをご使用後、拡げたままになっていませんか？	ご使用後はすぐに収納してください。

スクリーンにたるみができるときは…

スクリーンを平らな場所に設置していますか？	凹凸のない平らな場所に設置してください。
トップバー（スクリーン部）とケースが平行になっていますか？	トップバーが平行になるようセットしてください。
風があたっていませんか？	風があたらない場所に設置してください。
高温･高湿の環境で保管、または使用していませんか？	常温常湿の環境で保管、または使用してください。

保証とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書が付属しています。保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みの上大切に保管してください。

- 保障期間は、お買い上げの日から１年間です。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保障期間中の修理など、アフターサービスについておわかりにならない場合は、お買い上げの販売店または株式会社ケイアイシーまでお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償で修理いたします。
- 本製品は日本国内でのご使用を前提としており、海外でのご使用について当社は一切の責任を負いかねます。

保証期間内であっても、以下事項につきましては保証対象外となりますのでご了承ください。

１．スクリーン免責事項

症 状	原 因	処 置
スクリーンに黒点・白点がある	光学スクリーンの特性です。	有効面内にある４個までの 1.0mm^2 未満の黒点・白点は不良ではありません。
スクリーンにスジ・その他の欠陥がある		有効面内にあるスジ・黒点その他欠陥は、観察距離３m で見えないものは映像に影響がないため不良としておりませんのでご了承ください。
スクリーン端部に若干のカール、表面にシワがある	光学スクリーンフィルムの特性です。	フィルム独自の現象であり、スクリーン不良ではありません。
スクリーン表面にホットスポット（表面の局部的な反射）がある		本スクリーンの特性であり、スクリーン不良ではありません。

２．次の場合は有料修理となります。

１．お客様による使用上の誤り、不当な修理や加工、改造による故障および損傷
２．当社の取扱説明書、カタログ等に記載されている使用条件や環境の範囲を超えた使用による故障および損傷
３．当社以外で、改造、調整、部品交換等をされた場合
４．火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害、塩害、ガス害などによる故障および損傷
５．自然消耗、摩擦、錆び、カビ、腐敗、変質、変色、その他類似する事由または虫食いによる故障および損傷
６．外観のキズ、塗装の剥離、汚れ等、外観上の損傷で使用上支障のない場合
７．日本国外で本スクリーンをご使用された場合

販売元・問い合わせ先

株式会社ケイアイシー　〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-28-3　川辺第二ビル　TEL：(03) 3357-7195

ハイコントラストスクリーン
クリアブラック モバイルタイプ

取扱説明書

このたびは、お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この「取扱説明書」は、スクリーンを安全に正しくご使用いただくためのものです。ご使用の前に必ずお読みください。また、ご使用中もお手元に置いてご活用いただき、大切に保管してください。

安全上のご注意

製品は安全に十分配慮して設計されておりますが、誤った取り扱いをすると、火災が起きたり人が障害を負うことがあります。事故防止のため下記を必ずお守りください。

定期的に点検する ▶▶ ご使用前に、スクリーンの巻き取り部や取り付け部、パンタグラフ・フレーム、脚部、グリップ部などに、ゆがみ・ゆるみ・破損や亀裂等がないことを確認してください。点検は１年に１度行ってください。

故障したら使用しない ▶▶ 動作がおかしくなったり製品の破損に気がついたら、すぐに使用を中止して販売店に修理をご依頼ください。

⚠ 警 告　下記の注意を守らずに誤った取り扱いをすると人が障害を負う恐れがあります。

火気禁止 **熱器具のそばに設置しない**
製品にはプラスチック素材を使用しています。ストーブやヒーターなど発熱器具に近い場所に設置すると火災の原因になります。２m 以内に近づけないでください。

禁 止 **スクリーンやケースの転倒を防止する**
セット後のスクリーンやパンタグラフ・フレームを押したり寄りかかったりしないでください。スクリーンやパンタグラフ・フレームに物をぶら下げないでください。

禁 止 **不安定な場所に設置しない**
脚の下に物をはさんだ状態や傾いた場所でスクリーンを拡げると、転倒によるけがの原因になります。

禁 止 **脚を閉じたまま使用しない**
脚のセットを確認後、スクリーンを拡げてください。脚を開かずにスクリーンを拡げると、転倒によるけがの原因になります。

禁 止 **風を直接あてない**
屋外または窓や扇風機の前など風のあたる場所でスクリーンを拡げると、転倒によるけがの原因になります。

禁 止 **分解・改造しない**
正常に作動しなくなるだけでなく、部品が飛び出し大けがの原因となります。

使用禁止 **消防法指定建築物内のカーテン・ブラインド・舞台の上で使用しない**
31m 以上の高層建築物、地下街、幼稚園、病院など消防法指定の建築物の舞台の上では使用しないでください。

⚠ 注 意　下記の注意を守らずに誤った取り扱いをすると人が障害を負う、または財産に損害を与える恐れがあります。

スクリーンを取り扱うとき
- スクリーン運ぶ際は、ケースロック金具のロックを確認してください。ロックが不完全な状態で持ち運ぶと、ケースが不用意に脱落しスクリーンを汚したり破損の原因になります。
- スクリーンを上げ下げする際は、必ずグリップを持ってゆっくり操作してください。背面のパンタグラフ・フレームを持つと、指をはさむことがあります。
- スクリーンをお手入れする際は、スクリーンの両端をさわらないでください。けがの原因になります。また、スクリーンやパンタグラフ・フレームが転倒しないようご注意ください。

禁 止 **子供がさわらないようにする**
小さなお子様がスクリーンを操作したり、スクリーンを使って遊ばないように注意してください。スクリーンが転倒し、けがの原因になります。

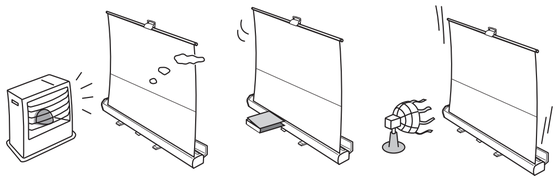
禁 止 **水平にして保管する**
スクリーンを垂直に保管する際は、転倒防止の処置をしてください。壁に立て掛けるなどするとスクリーンが倒れ、けがの原因になります。

mobile_clearblack_KIC.indd　1　　2014/11/25　19:17:16

設置に関するご注意

次のような場所には設置しないでください。

- 湿度の高い場所・直射日光のあたる場所で使用すると、スクリーンのたるみ・変色の原因になります。
- ほこりの多い場所で使用すると、機構部破損の原因になります。
- 風が直接あたる場所で使用すると、転倒によるけが・スクリーン破損の原因になります。
- 水平でない場所で使用すると、転倒によるけが・スクリーン破損の原因になります。
- ストーブや熱器具の2m以内で使用すると、火災の原因・スクリーンのたるみの原因になります。
- 人が頻繁に通過する場所で使用すると、接触時の転倒によるけが・スクリーン破損の原因になります。
- 気温、室温が高い場所
- 屋外



スクリーン

スクリーンの反射性能維持のため、下記にご注意ください。

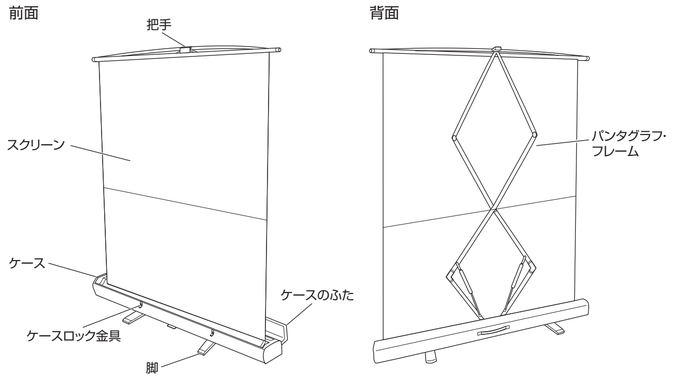
- スクリーンに直接手を触れないでください。
- スクリーンを折る、寄りかかる、物をぶら下げるなど乱暴に扱わないでください。
- スクリーンに文字を書かないでください。筆記用具の種類を問わず消すことができなくなります。
- スクリーンの日常のお手入れは、乾いた柔らかい布で拭くか柔らかいブラシでほこりを払ってください。汚れがついたときは、20倍に薄めた中性洗剤液で軽く拭いたあとに水拭きをして、自然に乾燥させてください。ドライヤーなどは使用しないでください。
- お手入れにはベンジン・シンナーなどの化学薬品は使用しないでください。スクリーンの表面が変質し、均一な映写効果が得られなくなります。

よりキレイな映像をご覧いただくために

鮮明な映像をご覧いただくため、下記にご注意ください。

- 日光・照明が、スクリーンの真正面や真横から直接あたらないようカーテンなどを閉じて遮光してください。
- 広い室内での使用時は、スクリーンから遠くにある照明はできるだけ消灯してください。狭い室内での使用時、スクリーン真上の照明は消灯しなくてもかまいません。照明にルーバーを設置すると、より鮮明な映像をご覧いただくことができます。
- プロジェクターが天井設置された環境での本スクリーンの使用は不向きです。特性を最大限に得られないことをご了承ください。
- プロジェクターはテーブルや机の上に設置することをおすすめします。

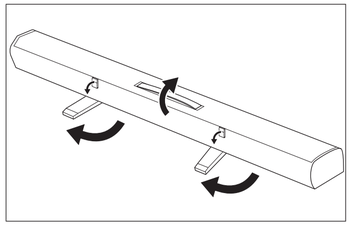
部品の名称



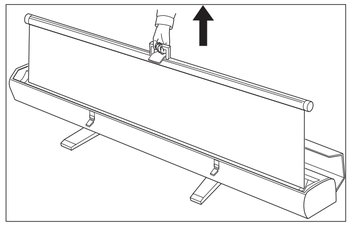
スクリーンをセットする

スクリーンを引き出す

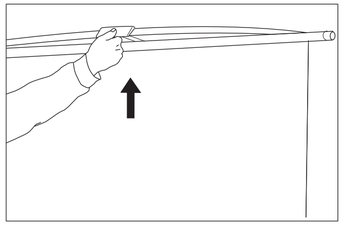
1. **スクリーンをセットする場所を確保します。**
2. **ケース底面の2つの脚を、ケースと直角になるよう回転させて開きます。**
3. **ケースロック金具を解除してケースのふたを開けます。**
   ケースのふたを押さえながら、ケースロック金具を操作してください。
   ケースのふたは、ケース後方に立てた状態にしてください。



4. **把手を持ち、グリップを持ちやすい高さまでスクリーンを引き上げます。**

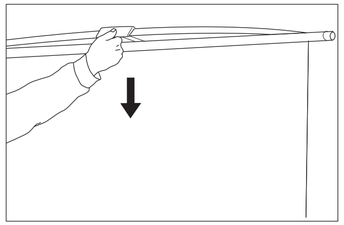


5. **グリップを持ち、できるだけ垂直に引き上げます。**



スクリーンを収納する

1. **グリップを持ち、できるだけ垂直に引き下げてケースにスクリーンを収めます。**
   グリップをケースに押し込み完全にロックさせてください。



2. **ケースのふたを閉じてケースロック金具をロックします。**
   ケースのふたを押さえながら、ケースロック金具を操作してください。
   ケースロック金具のロックを確認してください。
3. **ケース底面の2つの脚を、ケースと平行になるよう回転させて閉じます。**